

北京京劇院 京劇三國志

三國志をテーマに京劇を上演する企画は今回で3回目になります。伝統を重んじる北京京劇院だからこそ実現できるこの企画はこれまでに7つの演目を紹介してまいりました。三國志演義の中でもよく知られている場面と、京劇演目として有名な場面をおりまぜてご覧いただきました。

この度は、新作ものと伝統的に繰り返し演じつづけられてきた演目を二部構成でご覧いただきます。



● 戦古城

張飛 古城で奮戦す

北京京劇院の国家一級演出家「宋捷」が張飛の人物像を三國志に關係する文献より掘り起こし、クローズアップさせた最新作。

徐州の戦いのため、桃園の義兄弟は別れ別れになつてしまつた。張飛は落ち延びる道すがら、芒陽山で賊に襲われたが逆にやつつけてしまった。実はこの賊、黄巾族の残党で悪評が高い呉虎で山を根城にしていた。これを知つた張飛は民に害が及ぶことを危ぶみ、後を追つた。行き場を無くした呉虎は古城を狙う。古城の総將軍「郭常」は娘の郭玉娘とともに抵抗するが…。

● 水淹七軍

関羽 七軍を水攻めにす

小説三國志演義 第七四回を京劇で取り上げた伝統的な演目。魏の「曹操」は襄陽で蜀の「関羽」に敗戦した。「曹操」は救援戦に際して、元帥に于禁、先鋒にその勇猛ぶりを謳われた若き龐徳を起用し、七つの軍を与えて急行させる。龐徳は自らの棺桶を作り、生命をかけて戦う決意を表明する。龐徳と関羽の凄まじい騎打ちとなるが、関羽危うしという所で魏軍の撤退の鐘が鳴る。その鐘は、私欲に走つた于禁の龐徳への妬みが鳴らせたのだ。さらに于禁は、山の谷間に陣營を移し次なる命が下るまで出陣しないよう龐徳に命じる。七軍が駐屯した場所が、谷間に沿つて流れる襄陽の川の低地にあると確認した関羽は「網打尽」の計略を思いつく。

劉備役

譚孝曾
(国家一級俳優)



関羽役

葉金援
(国家一級俳優)



張飛役

羅長徳
(国家一級俳優)

